

## 松川町地域産業推進協議会 第7回企画委員会 会議録

日時：平成24年10月24日（水）

午後6時30分～8時40分

会場：松川町役場 2階 大会議室

第7回目の企画委員会を開催。

今回は、企画委員の参加者が少なかつたため、全員でワークショップを行ないました。

内容は、次回、第2回目の協議会への提案事項の最終検討を行ないました。

会議の中で出された意見等については、次頁以降へ記載します。

## これまでの提案

### A部会

- ・統一看板の設置
- ・町百景の地図化

### B部会

- ・ブランドの認証化
- ・地域通貨

### C部会

- ・ソフト面での支援（人づくり）
- ・空き店舗を利用した物販

## 今回出された意見

（看板、ブランド）

- ・看板、ワンポイント的なものであれば取り組みやすい。松川のブランドとリンクするようなもの。
- ・例えば「ペット泊まれますよ」と旅館に表示。高齢者が増える中、大きな看板では目に留まりづらい。チラシで配布を。町民が理解できる町づくりを。パソコンなどは高齢者には無理。身近なことからやるべき。

（町百景）

- ・外向きの観光案内も大切だが、内向き（松川町民）への町の魅力PRも必要。町百景など町民が知っていなければ案内もできない。

（地域通貨）

- ・地域通貨は使う人がいなければ意味がない。まつかわスタイルの延長で地域通貨が検討されていけばよい。

（空き店舗）

- ・出来そうなことからコツコツと。  
空き店舗利用は、そこに関わっている人達を集めて話し合いが必要。  
→カルチャー教室など。得意分野の人を講師にし、集まった人で商店街にお金を落としたり。
- ・空き店舗活用は物販にこだわらない方がよいのではないか。

(全体、その他)

- ・出来そうなことから始めていったらどうか。とりあえず形にすることが大事。
- ・有識者を集めて専門的な話を進めるべきではないか。
- ・やる気のある人をサポートする行政の支援が必要。
- ・老人福祉センターを建てて、とにかく人を集めることが重要。
- ・上片桐専用側線（日通跡地）の有効利用として、趣味が活かせるようなものがよい。上片桐地区の衰退が気になり。
- ・およりての森にキャンプ場を。

## まとめ

- これまでの提案6つ共に協議会へ上げる。

- 協議会出席の各部会提案者
  - A部会・・・大倉 正治 氏
  - B部会・・・松下 善幸 氏
  - C部会・・・座光寺 泰 氏